

<資料>

北陸本線・信越本線並行在来線・第3セクター鉄道の比較

	IRいしかわ鉄道	あいの風とやま鉄道	えちごトキめき鉄道	しなの鉄道・北しなの線
①営業区間	◆金沢・倶利伽羅◆富山乗り入れ	◆石動・越中宮崎◆金沢と糸魚川乗り入れ	◆市振・直江津◆直江津・妙高高原◆泊乗り入れ	◆長野・妙高高原で折り返し(◆軽井沢・篠ノ井)
②営業キロ	17.8km	98.7km	98.3km(60.3+38.0)	37.3km(65.1km)
③管理駅数	4駅、金沢駅はJR管理	19駅	21駅	8駅(19駅)
④車両	◆521系交直両用電車、5編成・2両ユニット	◆521系交直両用電車◆413系国鉄型電車(5編成)◆21編成◆日中ワンマン	◆市振・直江津間ディーゼル◆妙高・直江津間E127系◆北越急行とJR東車両乗り入れ	◆国鉄型115系直流電車◆ワンマン化◆改造5編成
⑤運転指令	◆あいの風が金沢で三社の指令(開業後2年間)◆はねうまラインは自社			本社
⑥電化・複単線	複線電化	複線電化	◆日本海ひすいラインは複線電化◆妙高はねうまラインは単線電化	単線電化
⑦運賃	JR比で通学1.0倍、通勤1.14倍、定期外1.14倍。6年目に値上げ	JR比で普通1.12倍、通学定期1.03倍、通勤1.12倍。平均1.09倍	JR運賃据え置き	しなの鉄道と同一(JR比通学1.49倍、通勤1.61倍、定期外1.24倍)
⑧運行ダイヤ・本数	◆現行本数確保◆金沢発富山最終列車の繰り下げ	◆富山高岡間で77本から84本など運転本数増(座席指定ライナーあり)◆回送電車約140本	◆「はねうま」はラッシュ時6両、通常2～4両◆「ひすい」はラッシュ2両、通常1両	JR運行本数維持が基本、3両以下
⑨資本金・出資者	20億600万(県70%、市町20%、民間10%)	40億(県63%、市町村27%、民間10%)	66億7710万(県と糸魚川・上越・妙高市、他)	23億6400万(県75%、沿線市町15%、その他10%)
⑩JR資産譲受額、初期投資額、国支援額など	◆鉄道資産約18億◆金沢駅約17億◆開業準備金約10億◆他に本社社屋、新指令約20～25億	◆譲受価格110億◆初期投資約185億◆貨物線路使用料約年24億◆国約43億	◆譲受価格西52億、東40億◆国から30年間で740億の支援◆県から約40億施設・設備補助	◆約38億円◆設備投資約21億円◆開業準備金約3億◆国支援毎年約4億円(貨物輸送機能確保)
⑪職員数	◆70～80人程度◆開業2年後には90～100人	◆414名うちプロパー約120名(◆11年JR668名)	開業10年目に全員プロパー(180～190人)	しなの220名+60人程度
⑫初任給等	166,000(大卒)	アテンダント時給1200	169,000(大卒)	169,000(大卒)
⑬経営理念	◆輸送の安全、安定的な運航と利便性向上◆安定的な経営◆地域振興と住民福祉の向上	◆安全性最優先、生活路線、利便性確保◆簡素・効率化◆地域振興、住民福祉の向上	◆安全・安心・快適な運行◆まちづくりと観光の振興、住民福祉の向上◆効率的活力ある経営	安全・安定輸送。健全で持続的な発展。(◆営業力強化地域との共生・連携/基本戦略より)
⑭貨物関係	◆1日40本以上	◆1日40本以上	◆北陸線◆1日40本以上	
⑮輸送密度	◆13,650人/日◆金沢・津幡間約17,700～18,600人(H24)	◆7,800人/日(H21)◆西部5,597人/日、東部2,546人/日◆通勤通学8割	◆北陸線1,470人/日◆信越線3,250人/日(H20予測調査より)	◆4,734人/日(H24)◆豊野から県境は大きく減少
⑯需要予測	◆H26年約21,500人◆H35年19,300人	◆10年後20%減◆20年後35%減◆30年後は半減	◆開業時1,971人◆30年後は1,261人(平均)	券種別(H27/H37)で定期外9%、通学23%、通勤13%減
⑰車両保守管理	◆JR西日本とあいの風とやま鉄道に委託	◆富山運転センター◆大規模はJR西	◆直江津車両基地◆大規模検査は委託	◆戸倉・屋台駅の車両基地◆豊野駅付近に派出
⑱JRとのかかわり	◆JR七尾線の金沢・津幡間乗り入れ	◆8駅でJR切符販売	◆特急「しらゆき」乗り入れ◆主要駅JR切符販売	◆JR飯山線長野・豊野間乗り入れ
⑲開業時のマスコミ報道から		◆午前7時45分高岡発泊行き乗れない便あり。朝夕の満員状態など	◆開業時乗り切れない便5本◆開業日始発列車電線凍結で運休など	
⑳その他	◆敦賀延伸を考え金沢駅駅舎の先行取得◆JR出向者人件費4割10年間JR負担◆運転支援基金(30億、11年間)	◆交流20,000V◆泊・金沢間ライナー◆ICカード◆経営安定基金(65億、開業10年)◆JR出向者人件費4割10年間JR負担	◆糸魚川・直江津間1,500V	◆豊野駅に駅長、各駅一括管理◆冬期間黒姫駅に社員配置、除雪車購入◆豊野以外は委託駅◆トイレは原則地元管理

出所:各県「経営計画」「経営基本計画」「会社説明」資料、新聞報道より作成。(注)計画時と現在では異なる場合がある。

(作成:渡邊眞一/2015.6.30)